

会議議事録

会議名	2022年度第1回くすり・調剤事務分野教育課程編成委員会
開催日時	2022年7月20日(月) 13:30~15:30
場 所	オンライン(校内会場:会議室)
出席者 (敬称略)	<p>① 外部委員:篠原陽子(一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会 ヘルス・アンド・ビューティケア人材育成センター事務局長)、三上真理子(株式会社ツルハ人材採用部係長) (計2名)</p> <p>② 本校委員:橋本正樹(校長)、結城久美子(くすり・調剤事務科学科長)、中村博臣(くすり・調剤事務科学科顧問)、渋谷大樹(くすり・調剤事務科教員)、宮下明久(事務局参与) (計5名)</p> <p>③ 事務局:土方雄太</p> <p style="text-align: right;">(合計8名)</p>
欠席者	なし
配付資料	事前送付: □資料1:2021年度第2回くすり・調剤事務分野教育課程編成委員会議事録(案)、□資料2:2021年度第2回委員会以降の主な経過報告 別添A:2022年度前期授業アンケート結果、資料3:2023年度生カリキュラム
議 長	結城学科長
議題等	<p>1. 校長挨拶</p> <p>橋本校長より、新型コロナウイルスは第7波の報道もあり、引き続き予断を許さない状況が続いている一方、様々な場面で日常の生活を取り戻そうとする社会的な動きも出てきた。</p> <p>本校としては、適宜オンライン授業を組み込める態勢を整える一方で、感染症対策と熱中症予防に配慮しつつ、対面授業を実施している。</p> <p>この夏以降もしばらくは判断が難しい教育上の問題が発生することと思うが、委員の皆様には、くすり・調剤事務分野の仕事の現在、将来に関する専門家の視点からの貴重なご意見と、当該学科の教育やカリキュラム等へのご提言をいただきたい、との挨拶が行われた。</p> <p>2. 2021年度第2回委員会議事録の確認(資料1参照)</p> <p>結城学科長より前回の議事録について諮ったところ、修正意見はなく、原案のとおり確認された。</p> <p>3. 2022年度の活動報告</p> <p>・2021年度第2回委員会以降の主な経過(資料2参照)</p> <p>結城学科長より、資料2に基づき説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。</p>

4. 2022 年度第 1 回委員会での討議事項

(1) 2023 年度カリキュラムについて (資料 3 参照)

(2) オープンキャンパスでの体験授業内容の充実について

高校生が学びたい内容、卒業後に役に立つ科目およびその内容など

業界における協会、企業の立場からも要望されるカリキュラムなどの観点から

(3) その他

結城学科長より、各項目について説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。

5. 2022 年度第 2 回委員会について

結城学科長より、次回の予定議題の説明及び日程調整が行われ、2023 年 2 月 15 日

(水) 午後 1 時 30 分からとすることが決定した。

○次回予定議題

(1) 登録販売者試験の試験内容、合格状況などについて

(2) 卒業後に役に立つ教科内容・資格など

以上

2022 年度第 1 回くすり・調剤事務分野教育課程編成委員会の主な討議内容

3. 2022 年度の活動報告

・2021 年度第 2 回委員会以降の主な経過（資料 2 参照）

○結城学科長より、資料 2 に基づき説明が行われ、項目ごとに質問、意見を伺った。

○主な質問・意見等

質問・意見等	回答等
<p>2. 就職内定状況</p> <p><input type="checkbox"/> 本年度の販売職の定員充足時期について伺いたい。</p> <p><input type="checkbox"/> 最近、夏のインターンシップに参加する専門学校の学生が増えてきている。弊社はオンラインで行っているの、気軽に参加できるのかと思う。</p> <p>3. 2023 年学生募集状況</p> <p><input type="checkbox"/> 就職内定が順調に進んでいるようだが、スムーズに決まったのか。</p> <p><input type="checkbox"/> インターンシップを受けると就職に有利になるのか。</p> <p><input type="checkbox"/> 他校でも就職に苦労しているとの話を聞く。コロナの関係等で人員を調整されていることはないか。</p>	<p><input type="checkbox"/> 6 月末でほぼ終了となっており、例年と比較しても相当早まっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 本校の学生も参加させていただき、大変勉強になったと聞いているが、全体的には大学生と一緒にやることの緊張や恐怖感があるようなので、もっと促していきたい。</p> <p><input type="checkbox"/> 苦労した学生もいたが、1 社で決まってしまう学生も数多くいた。</p> <p><input type="checkbox"/> 複数のコースを受けることで選考につながっているケースはあるが、参加すれば合格というわけではない。接点を持つためにいろいろ工夫をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 募集人数を減らしているところはないが、コロナ以降、美容分野など他業種からの流入が多いと感じている</p> <p><input type="checkbox"/> 小売業そのものを希望する学生がまだ少なく、その中で取り合いになっているのかと思う。</p>
<p>7. 2022 年度東京都登録販売者試験申込状況</p> <p><input type="checkbox"/> 企業によっては、合格祝い金や受験料の補てんなどのほか、内定者へのサポートが充実しているが、貴社の状況を伺いたい。</p> <p><input type="checkbox"/> 登録販売者の資格取得に対してアドバイスをいただきたい。</p>	<p><input type="checkbox"/> 合格者には、入社半年後に祝金が支給される。内定者に対しては、問題集の授与や教育担当者との相談の機会を設けている。</p> <p><input type="checkbox"/> 問題を多く取り組むことと、苦手な分野を中心に勉強することだと思う。</p> <p>2 年生の登販の授業では、常に正解率を記録している。自分の弱いところや経時変化が一目で</p>

	分かるので、一對一の指導に利用している。生徒に寄り添って、コツコツと教えていくしかない。
--	--

4. 2022 年度第 1 回委員会での討議事項

(1) 2023 年度カリキュラムについて

○結城学科長より、以下の説明が行われた。

- ・「応対の技術」を削除し、2 年の後期に「現場で役立つ OTC 薬の応対」を新規に設置した。
- ・病気や幅広い健康分野に対する知識を深めるため、「病気とヘルスケア」を I・II とし、1 年生の前期、後期に実施する。
- ・カリキュラムには載ってこないが、「キャリアデザイン」の中で高齢者体験、車椅子体験、目の見えない方の体験などを行う。
- ・単語帳のアプリを作成し、学生に配布した。

○主な質問・意見等

質問・意見等	回答等
<input type="checkbox"/> 「現場で役立つ OTC 薬の応対」は大変よいと思う。 アプリで、単語だけでなく過去問なども学習できるとよい。 介護関係や認知症などは今後の課題になると思うので、学んでいただきたい。	<input type="checkbox"/> アプリは、できるところから少しずつ始めていきたい。 高齢者の体験はキャリアデザインに入っている。認知症についても授業で触れる機会があるので、理解を深めて対応できるようにしていきたい。
<input type="checkbox"/> 新入社員からどのような不安を聞くことが多いか。	<input type="checkbox"/> アプリは 1 年生も 2 年生も使えるような薬の一般常識や、登販の直前対策として一問一答形式のものを利用している。 <input type="checkbox"/> 自分の知識がなく、的確なアドバイスや接客ができないため、お客様に何を聞かれるかが不安だという声を聞く。 <input type="checkbox"/> 様々なお客様とのコミュニケーションに悩むのではないか。薬剤師や栄養士、年長のパートさんなどとの連携を大事にしていただければと思う。
<input type="checkbox"/> 他の専門学校で、履歴書に資格をたくさん書いてくるところがある。資格取得を促すのも一つのポイントになるのではないか。	<input type="checkbox"/> 当校は、就職活動までに取得できる資格は少ないが、2 年の後期になると増えてくる。登録販売者に注力しつつも、パソコン関連の資格は取得可能だと思うので、今後担当の先

	生と相談したい。余裕があれば、資格取得を1年次に前倒しすることを検討してもよいのではないかと思う。
--	---

(2) オープンキャンパスでの体験授業内容の充実について

○主な質問・意見等

質問・意見等	回答等
<p>□「現場で役立つ OTC 薬の応対」と同じ形で、オープンキャンパスでも、例えば風邪薬の種類とその違い、飲み方などを分かりやすく話すよ。食中毒や熱中症、冬であればインフルエンザなどをテーマにしてはどうか。</p> <p>イベントの中では、クイズ形式で薬について説明することはある。</p> <p>卒業生の体験談を聞くのもよい。</p> <p>□薬というキーワードと、人の役に立ちたいという思いが結びつくことが大事だと思う。</p> <p>オープンキャンパスに行ったときの雰囲気が決め手になると思うので、OG、OB と先生方が親しくしゃべって雰囲気を演出することも必要ではないか。</p> <p>内容としては、肌荒れの薬や目薬など、高校生がふだん使っているような薬をピックアップして、ミニ情報を伝えるとよい。</p> <p>□企業や団体がイベントを実施しているが、測定系のほかに、楽しくできる体験イベントなどをやっていたら参考のために伺いたい。</p>	<p>□登録販売者として働く学生と、調剤事務で働く学生の 2 名の卒業生にインタビューをして、その動画を学科説明の最後に流している。卒業生がオープンキャンパスの手伝いに来てくれたときは、話をしてもらっている。</p> <p>□当校は、雰囲気がよいと言っただけのことが多い。</p> <p>資格の取得ができることについて、もう少し提示する必要性を感じた。</p> <p>身近な薬を材料にするよう見直しをしていきたい。</p> <p>□高齢者が増えてきて、嚥下やオーラルケアが注目されている。とろみ剤がどのように喉を流れていくかとか、介護食を体験するのも面白いかもしれない。</p> <p>□店舗では栄養相談、健康相談という位置づけが多い。ドラッグストアの商材は、美容に関する体験は簡単にできるが、医薬品は難しい。</p>

以上